（様式Ⅲ）

提出年月日 令和　　年　　月　　日

業 績 目 録　　学位論文,原著,症例報告,総説,著書等,主要学会での発表の別に，

　　　　　　　 　　それぞれまとめ，印刷してください。　　　　　　　　　　氏　　　名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 類　別 | 番号 | 著者名（発表者名）全員の氏名を記載順に記入し，本人の氏名にアンダーラインを付してください。  なお，ファーストオーサーが複数である場合は，ファーストオーサーの著者全員の名の左上端に「#」印をつけ，著者名記載の後に「(# equal contribution)」と記載して下さい。  また，全てのcorresponding author の左上端に「\*」印をつけてください。  学位論文（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター），  原著（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  症例報告（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  総説（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  著書等（分担項目名･書名･初頁～終頁･発行所･年・査続の有無），  主要学会での発表（題目･会名･年；シンポジウム･特別講演等の別） |
|  |  |  |

**（様式Ⅲ）記入例**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　提出年月日 令和○○年○○月○○日

業 績 目 録　　学位論文,原著,症例報告,総説,著書等,主要学会での発表の別に，

　　　　　　　 　　それぞれまとめ，印刷してください。　　　　　　　　　 氏　　　名　大　学　太　郎

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 類　別 | 番号 | 著者名（発表者名）全員の氏名を記載順に記入し，本人の氏名にアンダーラインを付してください。  なお，ファーストオーサーが複数である場合は，ファーストオーサーの著者全員の名の左上端に「#」印をつけ，著者名記載の後に「(# equal contribution)」と記載して下さい。  また，全てのcorresponding author の左上端に「\*」印をつけてください。  学位論文（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター），  原著（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  症例報告（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  総説（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），  著書等（分担項目名･書名･初頁～終頁･発行所･年・査続の有無），  主要学会での発表（題目･会名･年；シンポジウム･特別講演等の別） |
| 学位論文  原著  症例報告  総説  著書等  学会発表  その他 | ○    １  ２  ③  ④  ⑤  １  １  ②  １  １  ２  １ | \*大学太郎. ○○○○○における△△△△の形態計測的研究 —××××学的所見との関係—  臨床神経　20:31-39,1982  \*大学太郎．○○○と△△△△との関連．  九州神経精神医学　7：263－266，1992 査続：有無  \*Daigaku T., Oita J., Monka S. Stemlin he･････of ････ DNA in he･････ carcinoma.  Am.J.Surg.Pathol. 10：789－794，1994．（IF:○○）査続：有無  #Oita J., #Daigaku T., Monka S. Human uuu･･･ imm･･･RNA････factor･･･ cancer cells.  J. Cancer 19：452-458，1995．(# equal contribution)（IF:○○）査続：有無  Oita J., Monka S., \*Daigaku T. Abnormal hu･････ imm･･････ to mu･･････Stimu･･･　in ････ with lung cancer.  Cancer 69：2252-2257，1996．（IF:○○）査続：有無  \*大学太郎．○○○○からみた薬剤の△△と××法：髄膜炎（○○性・△△性・×××性）．  医学と薬学　22：801－809，2001．査続：有無  \*大分二郎，大学太郎，文科省一．○○○○を認めた△△△△硬化症の2例.  神経内科　31：104－108，1993. 査続：有無  Oita J., Daigaku T. ○○性△△炎．×××科ハンドブック（山田◇◇編），150－250，南江堂，東京，  1992．査続：有無  \*大学太郎，大分二郎. Port･････ sh････････.  Pit･･ and Comp･･･ in the Dia･･ Disease （ed. by N.J.Ly････ and M.Ma･･････），  475－484，Georg Thieme Verlag,N Y,1993. 査続：有無  Daigaku T., Monka S. Mucosal･･････････ against bacterial ･････････ in the nose.  ⅥⅤ World Congress of ･･…gy Head and Neck Surgery,Round Table,  1989, Madrid, Spain. 査続：有無  大学太郎，山田花子，文科省一 ○○○○○領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究．  第×回レーザーサーミアシンポジウム　1995.8.　犬山市.  大学太郎, ○○○○○における△△△△△と×××××の変動について.  第○○回臨床△△学会総会　1998.10．千葉市.  一般演題　上記ほか○○回  大分二郎，大学太郎，文科省一．○○○○を行う△△△△システムの検討.  神経内科　31：104－108，1993.  （全ての業績）  　原　　　著　　　７７編（和文５０編，内ファーストオーサー１７編）  　　　　　　　　　　　　（欧文２７編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内ファーストオーサー　８編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内コレスポンディングオーサー　２編，インパクトファクター計○○点）  　症例報告　　　　１０編（和文　５編，内ファーストオーサー　２編）  　　　　　　　　　　　　（欧文　５編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内ファーストオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内コレスポンディングオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）  　総　　　説　　　２５編（和文１５編，内ファーストオーサー　７編）  　　　　　　　　　　　　（欧文１０編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内ファーストオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）  　　　　　　　　　　　　　　（内コレスポンディングオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）  　著　書　等　　　３０編（和文２０編，内ファーストオーサー１５編）  　　　　　　　　　　　　（欧文１０編，内ファーストオーサー　５編）  　そ　の　他　　　　２編（和文　２編，内ファーストオーサー　１編）  　　　　　　　　　　　　（欧文　０編，内ファーストオーサー　０編）  　シンポジウム，特別講演等　２５回（内トップネーム　２０回）  　一 般 演 題　 　国際学会　３０回（内トップネーム　２５回）  　　　　　　　　　国内学会　５０回（内トップネーム　３９回）  　　　　　　　　　地方学会　１５回（内トップネーム　１２回） |